

=====

CHINA IP Newsletter JETRO 北京事務所知的財産権部 知財ニュース
2023/4/17号 (No. 516)

=====

○ 法律・法規等

1. 国家知識産権局、「専利代理信用評価管理弁法」を公表(中国打撃侵権工作網 2023年4月12日)
2. 国家インターネット情報弁公室、生成型 AI サービスの管理措置案で意見募集(国家インターネット情報弁公室公式サイト 2023年4月11日)

○ 中央政府の動き

1. 国家知識産権局申長雨局長とフランス農業・食料主権大臣が会談(国家知識産権網 2023年4月11日)
2. 中国フランス知的財産権混合委員会、第33回会合を開催(国家知識産権網 2023年4月11日)
3. 国家知識産権局、「ブルースカイ」特別行動を引き続き推進(国家知識産権網 2023年4月10日)
4. 国家知識産権局：今年の知的財産権宣伝ウィークの活動テーマが決定(中国打撃侵権工作網 2023年4月6日)
5. 中国国家知識産権局とユーラシア特許庁が PPH 試行期間を延長(国家知識産権網 2023年3月31日)

○ 地方政府の動き

【華南地域】

1. 海南省、「2023年海南省知的財産権行政保護活動計画」を公表(中国打撃侵権工作網 2023年4月7日)

【その他地域】

2. 湖北省で生物医薬分野の企業イノベーションと海外知財保護に関するイベントが開催(国家知識産権網 2023年4月10日)
3. 重慶、8つの海外知財紛争対応指導ステーションを設立(中国保護知識産権網 2023年4月10日)
4. 希少金属と貴金属新素材の知財保護に関するハイレベルフォーラムが昆明で開催(中国知識産権資訊網 2023年4月6日)

○ 司法関連の動き

1. 広州知識産権法院、2022年の調停成功率が25.6% 過去最高(中国保護知識産権網 2023年4月12日)

○ ニセモノ、権利侵害問題

【華北地域】

1. 天津税関、約 14 万点の権利侵害貨物を無害化処理(中国打撃侵権工作網 2023 年 4 月 12 日)
【華南地域】
2. 広東、行政と司法の横断的協力を強化 1～3 月に 3347 件摘発(中国打撃侵権工作網 2023 年 4 月 11 日)
【その他地域】
3. 高級洋酒の空き瓶使う偽物、湖南省岳陽市で大量押収 容疑者 5 人拘留(中国打撃侵権工作網 2023 年 4 月 7 日)
4. 貴州・重慶・四川、酒類製品の知的財産権保護で連携(中国打撃侵権工作網 2023 年 4 月 4 日)

○ 統計関連

1. 北京、集積回路配置図設計の年間登録数が 400 件から 500 件(国家知識産権網 2023 年 4 月 13 日)
2. 知識集約型サービス貿易、1～2 月が同 6.4%増(中国政府網 2023 年 4 月 6 日)

○ その他知財関連

1. スマート・コネクテッドカー法律フォーラムが北京で開催(国家知識産権網 2023 年 4 月 7 日)

● ニュース本文

○ 法律・法規等

★★★1. 国家知識産権局、「専利代理信用評価管理弁法」を発表★★★

専利（特許・実用新案・意匠）代理業界における信用評価メカニズムを整備し、監督・管理を強化するため、国家知識産権局（CNIPA）がこのほど、「専利代理信用評価管理弁法（試行）」（以下、「管理弁法」）を公表し、特許代理事務所や弁理士に対し、A から D までの信用ランクを付与し、指導と監視を強化することにした。

「管理弁法」は全 5 章 20 条からなり、國務院の信用監督管理実施の要求に従い、信用格付けの基準を明確化し、A、B、C、D の 4 つのランクが設定されている。また、荣誉・褒賞、社会貢献などの要素を考慮した追加加点項目が設定され、A+ランクが新規追加されるとともに、信用情報の源、採点期間、採点方法などのルールが明確にされている。

CNIPA は今後、各地方当局による「管理弁法」の実施を指導し、専利代理業界の健全な発展を促進し、全社会のイノベーション活力を引き出し、經濟の高品質な発展を知的財産サービスで支援することを目指すとしている。

(出典：中国打撃侵権工作網 2023 年 4 月 12 日)

https://ipraction.samr.gov.cn/gzdt/bmdt/art/2023/art_d210737dd04a4249a06b24f5e957977d.html

★★★2. 国家インターネット情報弁公室、生成型 AI サービスの管理措置案で意見募集★★★

中国国家インターネット情報弁公室（CAC）は 4 月 11 日、「生成型人工知能（AI）サービス管理弁

法（意見募集案）」を公開し、一般から意見を募集すると発表した。意見提出の締め切りは2023年5月10日。

この管理弁法では、生成型AI製品やサービスの提供において、他人の合法的な利益を尊重し、他人の身体的および精神的健康への害を防ぎ、肖像権、名誉権、個人情報の侵害や知的財産権の侵害を防ぐことなどが求められている。また、個人情報やプライバシー、営業秘密を違法に入手、開示、利用する行為は禁止されるとしている。

意見提出の方法は以下の通り。

▽ 中華人民共和国司法部 中国政府法制情報ウェブサイト (www.moj.gov.cn, www.chinalaw.gov.cn) にログインし、トップページのメニューから「立法意見募集」欄に意見を投稿。

▽ 電子メールで意見を送信 wajscy@cac.gov.cn。

▽ 手紙で意見を送付 北京市海淀区阜成路15号 国家インターネット情報弁公室網絡協調局 〒100048 (封筒に「生成型人工知能サービス管理弁法征求意见」と明記)

(出典：国家インターネット情報弁公室公式サイト 2023年4月11日)

http://www.cac.gov.cn/2023-04/11/c_1682854275475410.htm

○ 中央政府の動き

★★★1. 国家知識産権局申長雨局長とフランス農業・食料主権大臣が会談★★★

4月7日、中国国家知識産権局（CNIPA）の申長雨局長が北京で、フランスのマルク・フェスノー農業・食料主権大臣一行らと会談した。

申局長は、地理的表示（GI）分野での長年にわたる良好な協力関係を評価した後、地理的表示の保護・協力に関して中国とEU、フランスが締結した協定により、両国のGI製品に全面的で効果的な保護が提供されているとの認識を示した。さらに、GIに関連する分野における協力を深め、GIの認定、管理、保護、普及などの最善の方法を共同で探りたいと語った。

フェスノー大臣は、GI保護・協力の関連協定の徹底に向けた中国の取り組みを賞賛した上で、GIの法制度や管理実務に関する経験を中国と共有し、GI製品の貿易発展を共同で推進していきたいと表明した。

(出典：国家知識産権網 2023年4月11日)

http://www.cnipa.gov.cn/art/2023/4/11/art_53_184036.html

★★★2. 中国フランス知的財産権混合委員会、第33回会合を開催★★★

4月6日、中国フランス知的財産権混合委員会が北京で第33回会合を開催した。中国国家知識産権局（CNIPA）の申長雨局長と、フランス工業所有権庁（INPI）のPascal Faure長官が会議に出席した。

申局長は、両国が特許や商標、地理的表示（GI）などの分野において効率的で実用的な協力を展開し、ポジティブな成果を上げていると評価した上で、マクロン大統領の訪中に合わせて、CNIPAとINPIが特許審査ハイウェイ試行プログラムに関する覚書を締結することについて、知財協力の新たな

な象徴的な成果となるだろうとの認識を示した。さらに、双方の協力関係をいっそう深め、両国のイノベーション主体のために、より効率的で利便性の高いサービスを提供することを望むと語った。

Faure 長官は、中国の知的財産権分野での業績を称賛し、今回の覚書署名を契機に、CNIPA との友好交流をさらに強化し、知的財産権立法や地理的表示保護などの分野で深い交流を展開していくことを期待すると表明した。

(出典：国家知識産権網 2023 年 4 月 11 日)

http://www.cnipa.gov.cn/art/2023/4/11/art_53_184033.html

★★★3. 国家知識産権局、「ブルースカイ」特別行動を引き続き推進★★★

4 月 10 日、中国国家知識産権局（CNIPA）が公式サイトで、知識財産権代理業界を対象とした「ブルースカイ」特別行動をいっそう推進すると発表した。

今年の重点取締対象として、▽抜け駆け出願やホットワード関連の商標買い貯めの代行、▽社会に悪影響を及ぼす商標出願の代行、▽商標の登録管理を担当する政府職員との結託、▽越境 EC 及びオンラインでの商標出願代行に関わった違法行為、▽国家機関や政府職員の名義詐称、▽法的文書や印鑑、署名の捏造・改ざん、▽同一商標の双方代理——などの違法行為が挙げられている。

CNIPA は関連部門と協力して、これらの違法行為に対する取り締まりを強化する方針である。地方当局に対して、重大な違反があった場合は CNIPA に報告し、犯罪の疑いがあった場合は司法部門に移送するよう要請している。

(出典：国家知識産権網 2023 年 4 月 10 日)

http://www.cnipa.gov.cn/art/2023/4/10/art_75_183498.html

★★★4. 国家知識産権局：今年の知的財産権宣伝ウィークの活動テーマが決定★★★

中国の今年の知的財産権宣伝ウィークは、4 月 20 日から 26 日まで開催されることになった。今年のテーマは「知的財産権の法治保障を強化し、全面的なイノベーションを力強く支える」。3 月 31 日、中国国家知識産権局（CNIPA）が開催した記者会見でわかった。

4 月 20 日には、2023 年知的財産権宣伝ウィークがオンラインとオフラインの組み合わせでスタートする。北京でオンラインの開会式が行われる予定で、各地方の知的財産権活動の実績や宣伝リソースなどを総合的に考慮し、東西南北中の 5 つの代表的な省・自治区・直轄市を選んで現地イベントが開催される。

知財ウィークの期間中、全国各地で統一的な計画に従って、数千の特色ある活動が開催される見通し。知的財産権文化の宣伝が政府機関や企業、住宅団地、学校に浸透し、一般市民の日常生活に広がると見られている。

2023 年は、中国と世界知的財産権機関（WIPO）との協力 50 周年にあたり、今年の知財ウィークの活動は、中国と WIPO との協力 50 周年記念行事と連携して展開され、内外の知的財産権宣伝効果をさらに拡大し、中国の知財ウィークの国際的な影響力と普及力をさらに高めることを目指すという。

(出典：中国打撃侵権工作網 2023年4月6日)

https://ipraction.samr.gov.cn/xwfb/gnxw/art/2023/art_e7decf91f4514816900920000b9b3624.html

★★★5. 中国国家知識産権局とユーラシア特許庁が PPH 試行期間を延長★★★

中国国家知識産権局（CNIPA）とユーラシア特許庁は4月1日より双方間の特許審査ハイウェイ（PPH）試行プログラムの試行期間を無期限で延長することに合意した。

期間延長された中国・ユーラシア PPH 試行プログラムは、元の通常の PPH 協力モデルのほか、PCT-PPH 協力モデルが追加された。つまり、双方の出願人は、特許協力条約（PCT）出願の国際段階成果物を利用して、CNIPA とユーラシア特許庁に対して、特許審査ハイウェイ(PCT-PPH)の利用を申請することができる。具体的な要件と手続きは中国ユーラシア PPH ガイドラインを参照するという。

CNIPA は2011年11月に初の PPH 試行プログラムを開始し、現在は30の国・地域の特許審査当局と PPH 協力を展開している。

(出典：国家知識産権網 2023年3月31日)

https://www.cnipa.gov.cn/art/2023/3/31/art_53_183273.html

○ 地方政府の動き

【華南地域】

★★★1. 海南省、「2023年海南省知的財産権行政保護活動計画」を発表★★★

海南省知識産権局は、「2023年海南省知的財産権行政保護活動計画」を発表した。今年に統合的な知的財産権保護メカニズムの整備を推進することを明確にし、特に中国馳名商標や「海南老舗」ブランドの保護を強化している。

同計画では、3つの側面から13の業務タスクの徹底が求められている。それぞれ▽統合的な知財保護メカニズムの整備推進や、多元化された紛争解決体制の整備などを含む活動基盤の強化、▽商標や特許、地理的表示に関する日常的な監視管理と特別行動の確実な推進などを含む監視管理活動への注力、▽第三回中国国際消費財博覧会における知的財産権保護活動の実施などを含む重要分野の知財保護強化——である。

省知識産権局は今後、関連部門と連携し、知財行政保護活動の高品質な推進と、全段階における知財保護レベルの引き上げなどに尽力し、法治化、国際化、利便化を特徴とするビジネス環境作りで海南自由貿易港の成長を強力に支援する方針である。

(出典：中国打撃侵権工作網 2023年4月7日)

https://ipraction.samr.gov.cn/xwfb/gnxw/art/2023/art_55f7f0d7f8ab46b8b166b320acebf561.html

【その他地域】

★★★2. 湖北省で生物医薬分野の企業イノベーションと海外知財保護に関するイベントが開催★★★

湖北省知識産権局がこのほど、生物医薬分野の企業向けに、「知的財産権・イノベーションの促進」

と「海外における知的財産権保護」をテーマとしたイベントを、オプティクス・バレー科技会展センターで開催した。

このイベントは、湖北省が企業の知的財産権、イノベーションと海外での知的財産権保護を支援するための一連のイベントの一部であり、知的財産権リソースを統合し、湖北省の重点産業と優位産業に焦点を当て、企業に専門的な知的財産権サービスを提供することが狙いとされている。

イベントでは、専門家が知的財産権の法制度、生物医薬企業の海外での知的財産権リスク、高価値特許の育成と保護、企業の高品質発展における知的財産権、イノベーションなどのテーマについて議論を交わした。政府関係者と一部の企業関係者約 70 名が現場イベントに参加し、オンラインで参加した人数は 3400 人を超えた。

(出典：国家知識産権網 2023 年 4 月 10 日)

http://www.cnipa.gov.cn/art/2023/4/10/art_57_183388.html

★★★3. 重慶、8 つの海外知財紛争対応指導ステーションを設立★★★

重慶市は海外での知的財産権保護支援活動を強化している。昨年から現在までに 8 つの海外知的財産権紛争対応指導ステーションを設立し、重慶市企業の海外進出をサポートしている。4 月 7 日、重慶市貿易促進委員会と市知識産権局が共催した 2023 年海外知的財産権紛争対応指導業務（重慶）交流研討会でわかった。

2022 年に「重慶市海外知的財産権紛争対応指導ステーション管理方法（試行）」が公表されて以降、この 1 年間、重慶市で 8 つの海外知的財産権紛争対応指導ステーションが設立された。企業への相談、指導が 236 回に達し、6 件の重大な国際知財紛争を適切に対応したなど、企業の知財紛争対応を積極的に支援している。

重慶市はまた、企業知的財産権保護欧州サービスセンターを設立しており、企業の欧州における特許ポートフォリオや保護支援サービスを提供している。このほか、海外競合相手の特許状況を重慶市企業が適時に把握できるよう、特許検索アプリも開発し、利用企業数は 835 社に達しているという。

(出典：中国保護知識産権網 2023 年 4 月 10 日)

<http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/zfbm/zfbmdf/cq/202304/1977594.html>

★★★4. 希少金属と貴金属新素材の知財保護に関するハイレベルフォーラムが昆明で開催★★★

4 月 3 日、希少金属と貴金属の新素材産業を対象とする知的財産権サービスのあり方について議論するハイレベルフォーラムが雲南省昆明で開催された。フォーラムで「パーク産業と企業成長における専利導航の活用」と題する報告書が発表された。

フォーラムに出席した専門家は、希少金属と貴金属新素材の知的財産権運営センターの整備や、産業の成長促進などについて議論を交わした。昆明市知識産権局の葉明局長が演説の中で、希少金属と貴金属新素材産業の発展状況は経済・社会の発展、技術進歩、国防力を計る重要な指標となっているとの認識を示し、その知的財産権の保護を強化しなければならないと呼びかけた。

昆明ハイテク開発区管理委員会と昆明市四条監督管理局、貴研鉑業有限公司が今回のハイレベル

フォーラムを共催した。

(出典：中国知識産権资讯网 2023 年 4 月 6 日)

http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=137758

○ 司法関連の動き

★★★1. 広州知識産権法院、2022 年の調停成功率が 25.6% 過去最高★★★

広州知識産権法院（知財裁判所）は 4 月 11 日、2022 年度の巡回法廷および調停機関に関する座談会を開催し、「優秀調停機関」と「優秀調停官」を表彰するとともに、「訴訟前調停に関する 10 大典型的事例」を発表した。

発表によると、昨年、広州知識産権法院は訴訟前の調停で合計 1 万 2600 件の事件を取り扱い、うち処理済みの 1 万 1579 件について、調停が成立した事件は 2964 件だった。調停成功率は 25.6%となり、過去最高を記録した。

昨年、広東知的財産権紛争調停センターが広州知識産権法院で設立され、現在までに 24 の調停機関が入居し、知的財産権保護の強化と紛争の多角的な解決メカニズムの改善が図られている。調停センターの在籍弁護士は昨年に 2487 件の事件を成功裏に調停し、調停成功率は 30.27%に達した。

広州知識産権法院はまた、各種の人民調停機関や国際商事調停機関を積極的に誘致し、昨年には新たに 6 つの調停機関が同裁判所の調停機関名簿に追加されたという。

(出典：中国保護知識産権網 2023 年 4 月 12 日)

<http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/sfjg/rmfy/dffy/202304/1977637.html>

○ ニセモノ、権利侵害問題

【華北地域】

★★★1. 天津税関、約 14 万点の権利侵害貨物を無害化処理★★★

先日、天津税関は 13 万 7000 点に及ぶ権利侵害貨物を無害化処理した。対象となった侵害貨物は、税関が輸出入管理の中で押収したバッグや靴、キックボード、フィルター、ブレーキパッドなどの商品を含む。「龍騰行動 2023」知財保護特別行動が開始されて以来、天津税関が初めて侵害貨物に対して集中的な廃棄処分を行ったものである。

天津税関の関係責任者によると、今回破棄された侵害貨物はすべて、税関の監視業務で押収されたもので、輸出入企業が他人の登録商標など知的財産権を商品に無断使用し、権利者の合法的権益を侵害した違法行為として摘発された。

天津税関は、侵害貨物のそれぞれの素材に応じて、無害化処理認定事業者に依頼して、解体後に焼却発電や粉碎破壊後の熔融などの方法で処理した。

今年に入って、天津税関は 34 回にわたり輸出入の貨物や品物に対して知的財産権税関保護措置を実施し、自動車部品や子ども用合わせて 28 回の侵害疑いのある商品を押収した。自動車部品、ベビーカー、バスタオルなど、合わせて 15 万 2600 点に上る権利侵害被疑貨物が差し押さえられた。

(出典：中国打撃侵權工作網 2023 年 4 月 12 日)

https://ipraction.samr.gov.cn/xwfb/gnxw/art/2023/art_6fac3d0a1bb745948f144f7c90c0436b.html

【華南地域】

★★★2. 広東、行政と司法の横断的協力を強化 1～3月に3347件摘発★★★

広東省の知的財産権侵害と模倣品製造販売摘発活動指導グループ弁公室は、各分野で進められている特別行動を拠り所に、行政刑事連携メカニズムを含む行政と司法の横断的協力を強化し、人々の安全、利益を脅かす権利侵害・模倣品の摘発に取り組んでいる。

今年1～3月、広東省の市場監督管理当局が摘発した権利侵害・模倣品事件は3347件に達し、この中の46件は犯罪の疑いがあるため公安機関に移送された。

広東省の市場監督管理当局と公安機関は、重大事件の捜査、処理で積極的に協力しており、座談会などにおける重大事件の情報共有や、共同エンフォースメントの実施など、横断的協力の効果向上に努めている。1～3月、広東省の公安機関は379件の権利侵害・模倣品犯罪事件、82の犯罪グループを摘発し、1058人の容疑者を逮捕した。公安機関と行政法執行機関の密接な連携により、事件移送手続きなどの円滑化が進み、取締活動の全面的で強力な局面が形成されている。

(出典：中国打撃侵権工作網 2023年4月11日)

https://ipraction.samr.gov.cn/xwfb/gnxw/art/2023/art_5d8b139aec714043aa7f1801d838a741.html

【その他地域】

★★★3. 高級洋酒の空き瓶使う偽物、湖南省岳陽市で大量押収 容疑者5人拘留★★★

湖南省岳陽市の公安局からの情報によると、同局の食品・医薬品・環境支隊は先日、偽造酒の製造・販売拠点を数カ所摘発し、容疑者5名を逮捕した。高級ウイスキーやブランデーの空き瓶を8000本以上、偽造酒を700本以上押収したほか、包装用のダンボール箱や、封緘機や打刻機などの生産装置を差し押さえた。

岳陽市公安局の食品・医薬品・環境支隊は2月14日、市民から「城陵地域のある倉庫で、偽の洋酒を製造しているグループがある」という通報を受けた。通報を受けた公安局は、市場監督管理部門と連携し捜査に乗り出し、城陵地域のある自動車販売市場の倉庫で、偽の洋酒を製造していた容疑者を現行犯逮捕した。

警察の調べによると、容疑者の黄氏は2022年から、広州や東莞などの地域から高級洋酒のボトルの空き瓶を回収し、山東省から低価格で購入した国産洋酒を空き瓶に詰め替え、封をし、コードを打ち、本物の二次元コードを貼り付けるなど一連の工作を施し、クラブやバー、スーパーマーケット、インターネットなどで売れ筋商品に変身し、高値で販売していた。

現在、事件の関連調査と証拠収集の作業が進められており、さらなる捜査が進行中である。

(出典：中国打撃侵権工作網 2023年4月7日)

https://ipraction.samr.gov.cn/gzdt/dxal/jl/art/2023/art_d56993545e544e5daacb195506716f47.html

★★★4. 貴州・重慶・四川、酒類製品の知的財産権保護で連携★★★

貴州、重慶、四川の3地域が酒類製品の知的財産権保護を強化するために連携することが明らかになった。3月30日、貴州省、重慶市、四川省の市場監督部門が貴州省貴陽市で、酒類製品の市場監視と知的財産権保護に関する協力協定に署名した。

協定によれば、貴州、重慶、四川の3地域は、酒類企業の知的財産権保護情報を共有するメカニズムを設立し、重大な地域横断的事件に対して、連携して監視する仕組みを整備する。また、商標ブランド、高価値特許、地理的表示（GI）、営業秘密などの保護を強化し、重点的企業リストを作成し、侵害行為や偽造行為を厳しく取り締まるとしている。

同時に、3地域は酒類製品の知的財産権の法執行と権利保護協力メカニズムを確立し、地域間の共同法執行、緊急連携、協同処理を展開する。情報共有、調査依頼、共同法執行などの分野で連携を深め、交通輸送、物流配送、貯蔵倉庫の各段階での協力を強化し、侵害や偽造品の発見能力を向上させ、交通輸送や郵便物などのルートにおける偽造品の流通を防ぐことが求められている。

(出典：中国打撃侵権工作網 2023年4月4日)

https://ipraction.samr.gov.cn/gzdt/dfdrt/art/2023/art_160f8459138240e5bddbbe26719f2f53.html

○ 統計関連

★★★1. 北京、集積回路配置図設計の年間登録数が400件から500件★★★

北京市知識産権局はこのほど、「北京市知的財産権公共情報サービス・プラットフォーム」(<https://www.beijingip.cn>)に配備された集積回路配置図設計の登録データを統計し、分析を行った。

統計データによると、ここ3年間の集積回路配置図設計の登録件数は比較的安定しており、年間の証明書発行件数は400件から500件の間に維持されている。

2022年の海淀区の証明書発行件数は282件で、北京市全体の証明書発行件数(457件)の61.7%を占めている。登録された集積回路配置図設計の中で、単極構造が採用されたものは317件で、70%を占め、単極構造がメインであることがうかがえる。また、単極構造のうち、COMS回路をメイン技術としたものは254件あり、全体の80.1%を占めている。

北京市知識産権局は集積回路配置図設計の統計分析を展開すると同時に、情報プラットフォームのPC端末と「京通」モバイル端末を通じて、ユーザーに向けて集積回路配置図設計のデータ検索と照会サービスを提供している。

(出典：国家知識産権網 2023年4月13日)

http://www.cnipa.gov.cn/art/2023/4/13/art_57_184138.html

★★★2. 知識集約型サービス貿易、1～2月が同6.4%増★★★

中国商務部が4月6日に発表したところによると、今年1～2月、知識集約型サービス貿易の割合が上昇しており、輸出入総額は前年同期比6.4%増の4069億2千萬元（1元は約19.2円）だった。

商務部の責任者によると、1～2月、中国のサービス貿易が成長を維持し、輸出入総額は前年同期比1.7%増の9695億8千萬元に達した。そのうち、サービス輸出は同11.8%減の4123億3千萬元、サービス輸入は同14.7%増の5572億5千萬元で、輸出から輸入を差し引いたサービス貿易収支額は

1449 億 2 千萬元の赤字だった。

知識集約型サービス貿易の割合が上昇しており、輸出入総額は前年同期比 6.4%増の 4069 億 2 千萬元に上り、貿易全体に占める割合は同 1.9 ポイント上昇の 42%に達した。

(出典：中国政府網 2023 年 4 月 6 日)

http://www.gov.cn/lianbo/2023-04/06/content_5750271.htm

○ その他知財関連

★★★1. スマート・コネクテッドカー法律フォーラムが北京で開催★★★

スマート・コネクテッドカー関連の法律問題について議論するフォーラムが北京で開催された。北京市知識産権局の指導の下、中関村知的財産権戦略研究院智能産業研究センター、北京理工大学智能科技法律研究センター、「中国知的財産権」誌が共催した。

フォーラムでは、スマート・コネクテッドカー産業の知的財産権とイノベーションの焦点課題を中心に、各領域の専門家がスマート・コネクテッドカー産業の標準必須特許（SEP：Standard-Essential Patent）ライセンスや料金設定、データ知的財産権保護などのテーマについて分析と議論を行った。また、会議では「2023 年度中国スマート・コネクテッドカー知的財産権およびデータコンプライアンスレポート」が発表された。

近年、北京はスマート・コネクテッドカーの発展を促進する産業基盤と知的財産権優位の構築に注力している。今回のフォーラムは、社会的な共通認識を得て、スマート・コネクテッドカー産業の高品質な発展に北京の知恵とソリューションプランを提供する場となった。

(出典：国家知識産権網 2023 年 4 月 7 日)

http://www.cnipa.gov.cn/art/2023/4/7/art_57_183384.html

=====

【中国 IPG のご紹介】

中国 IPG (Intellectual Property Group in China、中国知的財産権問題研究グループ) は、在中日系企業・団体による、知財問題の解決に向けた取り組みを行うことを目的とした組織です。主な活動には、年 5 回開催する予定の全体会合（メンバー間の情報交換や各種講演を実施）や、特定テーマについての検討を行う専門委員会、会員の所属業界における知的財産問題についての情報交換を行う WG 等があります。その他、知財関連法令についての意見募集への対応等を行っています。

ご関心・ご参加をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

★中国 Pigweed サイト：<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/ipg/>

★中国 IPG 事務局（ジェトロ・北京事務所 知的財産権部）

Tel: +86-10-6528-2781、E-mail: pcb-ip@jetro.go.jp

=====

【配信停止】

配信停止を希望される場合は、下記の URL にアクセスの上で「Unsubscribe」ボタンを押して下さい。

https://www.jetro.go.jp/mail5/u/1?p=tTW_GIj5ntM53_3CF1ZAZAZ

【新規登録・配信先変更】

新規登録や配信先を変更したい場合は、以下のサイトより E メールアドレスをご登録ください。

なお、従来のアドレスへの配信が不要な場合には、別途、上記の配信停止が必要になりますのでご注意ください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/cn_beijing/mail.html

【バックナンバー】

過去に配信したメルマガについては、以下にてご覧いただけます（※更新頻度は四半期に一度程度となります）。

<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/ipnews/archive.html>

【ご感想・お問い合わせ】

本ニュースレターに対するご感想・お問い合わせ等がございましたら下記までご連絡下さい。

日本貿易振興機構（ジェトロ）北京事務所知的財産権部

TEL : +86-10-6528-2781

E-Mail : pcb-ip@jetro.go.jp

【著作権】

本ニュースレターの著作権はジェトロに帰属します。

本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

【免責】

ジェトロはご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行ってください。

本文を通じて皆様に提供した情報の利用（本文中からリンクされているウェブサイトの利用を含みます。）により、不利益を被る事態が生じたとしてもジェトロはその責任を負いません。

【発行】

日本貿易振興機構（ジェトロ）北京事務所知的財産権部

=====
Copyright JETRO Beijing IPR Department, all rights reserved